

【詳細資料⑥】2016年度の環境会計結果

環境会計ガイドライン(環境省)に基づく分類において、継続性のある「費用」について2004年度移行の推移を以下のグラフで示します。

2016年度は、環境に関する投資合計が259,114千円、費用額合計が1,179,587千円と、2015年度に比べて投資、費用ともやや増加しました。このうち費用の増減要因は、排水処理設備の更新やボイラー設備のメンテナンスに伴う費用(公害防止コスト)が増加する一方、販売した商品のリサイクル費用(上・下流コスト)が減少しました。

過去13年間で「公害防止コスト」と「地球環境保全コスト」が増加する一方、「上・下流コスト」と「資源循環コスト」は、減少傾向にあります。

●2016年度環境会計(2016年4月～2017年3月)

環境省ガイドラインに基づく分類	主な取組の内容	投資	費用
(1)事業エリア内コスト		249,741	635,053
①公害防止コスト	排水処理設備更新、ボイラー設備メンテナンス、賦課金など	109,782	373,406
②地球環境保全コスト	蒸気配管の保温、排熱回収設備、冷蔵、冷凍設備の更新など	37,494	99,626
③資源循環コスト	飼料化設備、廃棄物リサイクル設備の整備など	102,465	162,021
(2)上・下流コスト	はかり売り用タンク購入、再商品化委託費用、リターナブルびんシステム維持など	2,716	199,373
(3)管理活動コスト	環境マネジメントシステムの整備・運用、環境設備の運用など	6,657	330,316
(4)研究開発コスト	製品等の製造段階における環境負荷の抑制のための研究開発	0	0
(5)社会活動コスト	環境教育イベント実施、環境NPO支援など	0	14,843
(6)環境損傷コスト	産業廃棄物適正処理推進基金	0	2
合計		259,114	1,179,587

(集計範囲:宝酒造単体、単位:千円)

●過去13年間の環境会計(費用)のグラフ

(単位:千円)

